

<市民向け講演会 特集号>

今月号は、市民向け講演会の特集として、当日の様子をお伝えします。

1月11日（木）区役所講堂にて、“自分らしく生きるために”をテーマとして、市民向け講演会を開催しました。当日は区長、民生委員会長を始め約200名の方にお越しいただきました。劇団「でこぼこ座」による在宅療養に関する普及啓発を始め、第二部では、大棟 耕介 先生をお招きし、「笑いのチカラ～ホスピタル・クラウンの現場から～」と題してご講演いただきました。また、同会場にて地域とのつながりをテーマとした写真展を開催しました。

劇団「でこぼこ座」千秋楽公演

—昨年11月に旗揚げした劇団「でこぼこ座」が千秋楽公演を終えました。劇団には、美術、広報担当を含め17名の劇団員が在籍し、台本読みや名古屋市医師会看護専門学校の体育館をお借りしての練習などを繰り返し行いながら、一人ひとりが自分のできることを精一杯行い、ひとつの舞台を作り上げてきました。

千秋楽公演では、たくさんの観客の皆様からの温かい歓声やご声援をいただき、最後まで演じることが出来ました。劇団員の皆様、公演にお越しいただいた皆様、一年間ありがとうございました。



「笑いのチカラ～ホスピタル・クラウンの現場から～」

「笑いのチカラ～ホスピタル・クラウンの現場から～」と題した大棟 耕介 先生のご講演では、クラウンのパフォーマンスもあり、終始なごやかな雰囲気で行われました。小児病院や被災地でのクラウンの実践のお話しをお聞きすることができ、講演後には直接、大棟先生へ感謝の思いを伝える参加者の姿もありました。



写真展「ともに生きる、ともに暮らす」

講演会場では、写真展も行いました。当日は、撮影にご協力いただいた方々にもお越しいただき、多くの方々に港区における地域のつながりをご覧いただくことが出来ました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

